

SDGs 支援サービスにおける「SDGs 宣言書」の策定支援について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）では、「77 SDGs 支援サービス」を通じて、取引先の「SDGs 宣言書」の策定支援に取り組んでいます。2023年6月において取引先6社がSDGs 宣言書を策定されましたので、下記のとおりお知らせします。

当行は、持続可能な社会の実現に向け、地域金融機関として企業のSDGs への取組みを支援してまいります。

記

SDGs 宣言実施企業の概要（五十音順）

注. 各企業における宣言書は別紙のとおり。

企業名	所在地	事業内容
株式会社アリエージェンシー （代表取締役 鈴木 豊実）	宮城県多賀城市山王字山王四区7番	建設業
（企業概要） 当社は1973年2月設立の防水工事業者であり、宮城県多賀城市を拠点として、屋上や水槽の防水工事およびプールのろ過機の設置工事を、設計から施工までワンストップで行っています。 「水に関する工事の安心・安全を追求する」をスローガンに掲げており、耐久性や防水性を兼ね備えた防水システムの採用により、高耐久かつ工期短縮を実現し、お客さまの様々なニーズに対応しています。 今後も、防水に関する確かな技術とこれまでの経験を活かして、人と地球環境に優しい街づくりに貢献していきます。		



七十七グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

もっと、ずっと、地域と共に。

企業名	所在地	事業内容
伊藤建設株式会社 (代表取締役 伊藤 伸浩)	宮城県大崎市古川駅東2丁目 9-17	建設業
(企業概要) 当社は昭和35年に創立し、本社所在地である大崎市を中心に、県内外を問わず、一般住宅や集合住宅の新築・リフォームを主体として業務を行なっています。 建設業界では、多くの現場労働者が個人事業主として工事を行なっている中、当社では、大工職、土木職など積極的に従業員として雇用をし、従業員の雇用環境・条件の安定化を図っております。また、従業員に対し、研修や資格取得の奨励・補助を行なうことで人材育成にも注力しています。 今後も環境や地域への貢献を通じて、持続可能な地域社会の実現に向けて取り組んでいきます。		

企業名	所在地	事業内容
東北三上機材株式会社 (代表取締役 中川 元基)	宮城県名取市小塚原字東遠泉63	足場工事業
(企業概要) 当社は、2013年9月に現代表取締役が個人創業をしたのち、2017年5月に設立をいたしました。主に宮城県を拠点とし、足場仮設工事や塗装工事、太陽光発電所定期管理業務、プラットフォーム運営事業を行い、さらには全国各地への仮設資材販売も手掛けています。「『まもる』生命を、生活を、生き甲斐を。」を経営理念とし、人々の暮らしを豊かにする企業を目指しています。 また従業員向けに社内独自の作業ルールブックを配布・周知し、現場の事故等を減らすなど安心・安全な職場環境づくりに尽力しています。 今後も人々の生活環境や地域貢献等を通じて持続可能な地域社会の実現に貢献していきます。		

企業名	所在地	事業内容
公益財団法人宮城県公害衛生検査センター (理事長 山田 卓郎)	宮城県仙台市青葉区落合 2丁目15-24	環境測定分析
(企業概要) 当センターは、1970年前後に進められた国の公害対策を背景に財団法人として設立され、その後法改正により2013年に内閣府の認定を受け公益財団法人に移行、2022年12月に50周年を迎えた公益財団法人です。 これまで「水」を中心とした公害質（大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、悪臭）の調査・分析や水道水、井戸水などの水質検査を承ってきましたが、2000年代以降は、室内空気汚染物質（シックハウス症候群原因物質）の測定や工場・事業場で働く方々の作業環境測定、建物解体工事で発生する廃材のアスベスト分析、農産物の残留農薬検査など多岐にわたる環境分野での測定・分析を承っています。 今後もこれら環境分析と啓発のための衛生相談等を行い、住民の健康と生活環境の保護、また、持続可能な地域社会の実現に寄与していきます。		

企業名	所在地	事業内容
株式会社モリキュウ (代表取締役 森 俊久)	宮城県岩沼市末広1丁目6-3	管工事 水道施設工事
(企業概要) 当社は昭和55年に岩沼市にて創業した設備業者であり、仙南地域を中心として、生活の中の様々な場面における快適で安心できる健やかな「水」環境の提供を行ってきました。 昨今の生活環境は、洪水の多発をはじめとした気候関連災害や、頻発する地震等の自然災害により日々脅かされています。「水」は人間が生命を維持する上で欠かすことのできないものであり、当社は「水道管＝ライフライン」であるという認識から水インフラの維持という使命を通じて、社会の持続的な発展・強靱な街づくりの創造に取り組んでいます。 今後も地域に必要とされる企業を目指し、社員一人一人が生き生き働き成長を実感できる会社づくりに挑戦していきます。		

企業名	所在地	事業内容
株式会社ヤマナカ (代表取締役 千葉 賢也)	宮城県石巻市幸町1番38号 ヤマナカビル3F	水産加工業
(企業概要) 当社は2008年設立の水産加工および流通業者であり、主に持続可能な養殖方法で生産された宮城県産のホタテ、牡蠣、ホヤ等を国内外に販売しています。東日本大震災では、工場が大規模半壊するなど甚大な被害を受けましたが、2011年5月に工場を再稼働させ、地元水産業の復興などに貢献してきました。 現在はFDA HACCPやASC・MSC認証等の国際認証を取得して、東北の水産物を国内外へ流通させており、地域資源を積極的に利用した商品の提供を通じて、持続可能な地域社会の実現に取り組んでいます。 震災以降、被災地の彼方此方で小さなイノベーションが起こり、官民間問わず地域社会全体が変わろうとする機運が高まりをみせている中で、当社も水産業界に変革を起こし、サステナブルな水産の未来を創造するため「MARINOVATION (MARINE×INNOVATION)」を掲げ、これからも挑戦を続けていきます。		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、SDGsに対する取り組みを更に強化するため、2021年10月より「SDGs実践計画」を策定しております。



SDGs宣言書

株式会社アリエージェンシー
2023年7月10日



当社はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取組を下記のとおり宣言します。

取組 カテゴリ	SDGs達成に向けた 重点的な取組テーマ	取組の内容	関連が強い SDGsゴール
環境	<u>CO2削減</u> <u>自然資本</u> <u>3R</u>	水に関する工事を手掛ける当社は、天然資源の持続利用に配慮し環境保全に努めます。 - 当社照明全てをLED化、営業車両はハイブリッド車を導入 - 水道使用量を月次管理し、可能な限り削減実施 - 業務上発生する資源は再利用するべくリサイクル業者へ委託	
人権・労働	<u>差別・ハラスメントの禁止</u> <u>労働環境の整備</u> <u>健康経営</u>	会社の大切な資産である従業員に対して健康投資をすることで、従業員の活力向上や生産性向上に努めます。 - 年間2回、差別・ハラスメントについての研修を実施 - 働きやすい環境整備のため、ラインワークスを活用 - 都道府県協会けんぽの「健康企業宣言」を実施	
公正な事業 慣行・組織 体制	<u>法令遵守</u> <u>管理体制</u>	公正な事業慣行及び組織体制の実現に向け、法令遵守や情報管理の徹底に取り組みます。 - 法令遵守に関する方針を、就業規則にて定めるほか、社会保険労務士によるコンプライアンス研修を実施 - CSRやリスクマネジメント体制を整備、工事安全衛生目標を制定 「弊社に関わるすべての人へ感謝・人と地球環境に優しい街づくりに貢献します」を経営理念に掲げ、会議等で社内全体に周知徹底	

SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) は、持続可能な開発のために国連が定めた国際目標です。2030年までに世界において解決すべき17のゴールを定めています。SDGsは、2030年の未来の「あるべき姿」もしくは私たちが直面している社会課題が、分かりやすく・バランス良く「見える化」されたものであり、企業がその経営や未来の姿を検討する際に役立つツールと言えます。

	貧困をなくそう		飢餓をゼロに		全ての人の健康と福祉を		質の高い教育をみんなに		ジェンダー平等の実現		安全な水とトイレを世界中に
	エネルギーをみんなにそしてクリーンに		働きがいも経済成長も		産業と技術革新の基盤をつくろう		人や国の不平等をなくそう		住み続けられるまちづくりを		つくる責任 つかう責任
	気候変動に具体的な対策を		海の豊かさを守ろう		陸の豊かさも守ろう		平和と公正をすべての人に		パートナーシップで目標を達成しよう		

SDGs宣言書

伊藤建設株式会社
2023年7月10日

当社はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取組を下記のとおり宣言します。

取組 カテゴリ	SDGs達成に向けた 重点的な取組テーマ	取組の内容	関連が強い SDGsゴール
人事・労働	<u>人材育成・ 労働環境の整備</u>	地元へ貢献できる人材の育成に取り組んでいます。従業員の働きやすさ向上のため、労働環境の整備に取り組んでいます。 - 建設業では、個人事業主としての現場労働者が多い中、当社は職方についても従業員として積極的に雇用し、雇用の安定化を図っております。また、研修や資格取得の奨励、補助を行い、毎月、勉強会を実施するなど、従業員に対し適切な教育訓練の機会を提供することに努めております。 - ハラスメント防止規定を策定し、従業員に内容の理解と遵守の徹底に努めております。その他、働きやすさ向上のため育児・介護のための時間外労働の制限や短時間勤務について規定を策定しております。	 
環境	<u>廃棄物・有害物質の削減、 3Rの推進</u>	環境保全のため廃棄物の管理・削減、3Rの推進に努めています。 - 廃棄物については、法令に基づき適切な分別・処理の徹底を行ない、廃棄物量の把握・削減に努めております。 - 資材については、可能な限り再利用を図り、また機械等についても、メンテナンスを徹底し長期利用に努めております。	 
製品 サービス	<u>品質・安全性</u>	お客様に品質の良いモノ・サービスを提供するため、工品質の向上を徹底しています。 - お客様からメンテナンスや不具合についての問い合わせがあった場合、当社従業員を早急に現場へ訪問させ、より早い対応に努めております。 - また、発生した不具合については原因究明・再発防止を徹底し、従業員間で共有することで品質の向上に努めております。	 
公正な事業 慣行 組織体制	<u>法令遵守</u>	公正な組織改正実現のため、また従業員の働きやすさの向上のため法令遵守の徹底に努めています。 コンプライアンスに係わる社内規定を策定し、定期的に従業員に対し研修を行なうことで、法令遵守に対する意識の向上を図っております。	 

SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) は、持続可能な開発のために国連が定めた国際目標です。2030年までに世界において解決すべき17のゴールを定めています。SDGsは、2030年の未来の「あるべき姿」もしくは私たちが直面している社会課題が、分かりやすく・バランス良く「見える化」されたものであり、企業がその経営や未来の姿を検討する際に役立つツールと言えます。

	貧困をなくそう		飢餓をゼロに		全ての人の健康と福祉を		質の高い教育をみんなに		ジェンダー平等の実現		安全な水とトイレを世界中に
	エネルギーをみんなにそしてクリーンに		働きがいも経済成長も		産業と技術革新の基盤をつくろう		人や国の不平等をなくそう		住み続けられるまちづくりを		つくる責任 つかう責任
	気候変動に具体的な対策を		海の豊かさを守ろう		陸の豊かさを守ろう		平和と公正をすべての人に		パートナーシップで目標を達成しよう		



SDGs宣言書

東北三上機材株式会社
2023年7月10日



当社はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取組を下記のとおり宣言します。

取組 カテゴリ	SDGs達成に向けた 重点的な取組テーマ	取組の内容	関連が強い SDGsゴール
人権・労働	<u>メンタルヘルス</u> <u>ダイバーシティ経営</u>	会社の人的資産である従業員等の健康維持・増進を行うことで、従業員の仕事に対する生産性向上、活力向上など組織全体の活性化に努めます。 ● メンタルヘルス疾患予防に関する施策実施（ストレスチェックの定期実施、メンタルヘルス維持に関するセミナー・研修の受講） 女性従業員を積極採用・登用し、女性が十分活躍できる就労環境を提供します。 ● 女性の積極採用についての取組み内容について周知（会社HP等）	 
公正な事業 慣行 組織体制	<u>内部管理体制</u>	「『まもる』生命を、生活を、生き甲斐を。」という企業理念のもと、社員一丸となり、お客様・地域社会から信頼される企業を目指します。 ● 企業理念に関する社内文書に基づき、社員の意識醸成・理解に向けた活動（定期的なミーティングでの読み合わせ、社内掲示等） ● 企業理念を社内周知したうえで社員個々人の目標を立て、企業の信頼向上に向けた取組みを実施	  
社会貢献 地域貢献	<u>持続可能な地域づくり</u>	地域と一体となった防災減災取組み、防犯対策、自然環境保全についての活動を行うことで、社会貢献・地域貢献に努めます。 ● 地域の防犯活動、パトロールへの参加 ● 事務所地域周辺における地域清掃活動（用水路草刈り、ゴミ拾い等）	
コミュニ ケーション	<u>情報開示</u>	環境、人権・労働等に関する自社のSDGsの取組みを社内外に開示し、パートナーシップを推進することで、目標達成に努めます。 ・「77SDGs支援サービス」を活用し、自社の強み・弱みを把握、目標を策定 ・SDGsに関する自社の取組や目標について自社のHP情報プラットフォームにて情報開示（「77SDGs支援サービス：SDGs宣言」の活用）	

SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) は、持続可能な開発のために国連が定めた国際目標です。2030年までに世界において解決すべき17のゴールを定めています。SDGsは、2030年の未来の「あるべき姿」もしくは私たちが直面している社会課題が、分かりやすく・バランス良く「見える化」されたものであり、企業がその経営や未来の姿を検討する際に役立つツールと言えます。

 貧困をなくそう	 飢餓をゼロに	 全ての人の健康と福祉を	 質の高い教育をみんなに	 ジェンダー平等の実現	 安全な水とトイレを世界中に
 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	 働きがいも経済成長も	 産業と技術革新の基盤をつくろう	 人や国の不平等をなくそう	 住み続けられるまちづくりを	 つくる責任 つかう責任
 気候変動に具体的な対策を	 海の豊かさを守ろう	 陸の豊かさも守ろう	 平和と公正をすべての人に	 パートナーシップで目標を達成しよう	

SDGs宣言書

公益財団法人宮城県公害衛生検査センター
2023年7月10日

当法人はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取組を下記のとおり宣言します。

取組 カテゴリ	SDGs達成に向けた 重点的な取組テーマ	取組の内容	関連が強い SDGsゴール
環境	自然資本	安全な水の確保に貢献します。 - 厚生労働大臣の登録検査機関として、水道水の水質検査や受水槽管理に係る検査を行うことにより、安全な飲用水供給に貢献します。 - 自治体の委託による県内の河川水などの水質分析を通し、陸域生態系及び海域生態系の保護・保全に貢献します。	 
	3 Rの推進	安心・安全な農産物の流通に貢献します。 - お客様からご依頼いただく農産物の残留農薬検査を通し、生産者の農業生産性向上及び持続可能な食料生産システムに貢献します。 廃棄物削減（リデュース）に努めます。 - これまで可能な限りリサイクル処理してきた産業廃棄物だけでなく、事業用一般ごみの分別をこれまで以上に進めます。 - 使用する試験用消耗品等を見直し、廃棄物量の削減に努めます。	     
人権・労働	ダイバーシティ	多様な人材が活躍できる職場環境をめざします。 - 子育てサポート企業としての厚生労働大臣認定「くるみん☆」を取得しています。 - 職員が能力を発揮し、仕事と生活の調和が図れるよう、両立支援制度の利用促進を図ります。 - 女性管理職が増えるような職場づくりに努めます - 年次有給休暇の取得が1人平均10日以上になるような環境づくりに努めます。	   
社会貢献・ 地域貢献	持続可能な地域づくり	地域の教育の場づくりに貢献しています。 - 広瀬川流域にある中学校の生徒への環境教育を行っています。 - 県立工業高校工業化学科の生徒を対象とした出前講座（手分析講習会）やインターンシップなどを受け入れています。	 
サービス	品質・安全性	検査結果の信頼性確保に努めています。 - ISO/IEC17025の認定を玄米・精米中の残留農薬試験において取得することにより、国際的な技術力の維持に努めています。 - ISO9001認証による品質マネジメントシステムを導入しています。	 

SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）は、持続可能な開発のために国連が定めた国際目標です。2030年までに世界において解決すべき17のゴールを定めています。SDGsは、2030年の未来の「あるべき姿」もしくは私たちが直面している社会課題が、分かりやすく・バランス良く「見える化」されたものであり、企業がその経営や未来の姿を検討する際に役立つツールと言えます。

	貧困をなくそう		飢餓をゼロに		全ての人の健康と福祉を		質の高い教育をみんなに		ジェンダー平等の実現		安全な水とトイレを世界中に
	エネルギーをみんなにそしてクリーンに		働きがいも経済成長も		産業と技術革新の基盤をつくろう		人や国の不平等をなくそう		住み続けられるまちづくりを		つくる責任つかう責任
	気候変動に具体的な対策を		海の豊かさを守ろう		陸の豊かさも守ろう		平和と公正をすべての人に		パートナーシップで目標を達成しよう		

SDGs宣言書

株式会社モリキュウ
2023年7月10日

当社はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取組を下記のとおり宣言します。

取組 カテゴリ	SDGs達成に向けた 重点的な取組テーマ	取組の内容	関連が強い SDGsゴール
環境	<u>水道環境の整備・改善</u> <u>CO2の削減</u>	水資源の持続的利用に配慮した製品の調達・利用に向けた取組を実施しています。 - 水資源の持続的利用に配慮した節水・省エネ設備・機器を普及させるよう推進に努めます。 自社の経済活動で生じるエネルギー使用量およびCO2排出量を見える化し、脱炭素社会の実現に努めます。 - CO2排出量の月次調査・報告を実施し、社内での業務改善に努め、CO2排出量の削減をします。	    
人権・労働	<u>人材育成</u>	会社の大切な資産である従業員等（人的資産）の教育・リテラシー向上に取り組むことで、会社だけでなく地域の活性化に努めます。 - 社員教育の重要性について意識的に高め、積極的に社内研修、外部講習に参加することで働き甲斐のある職場づくりに努めます。 - 業務に必要な資格の取得、また社員の生き甲斐にかかる資格の取得に対して積極的に支援します。	  
社会貢献 地域貢献	<u>持続可能な地域づくり</u> <u>社会との協働 影響への配慮</u>	地域との連携を密にし、地域社会との関係性を強化し地域の活性化に努めます。 - 災害等におけるインフラ整備等を地域の事業者と連携し、維持することで、住み続けられるまちづくりに貢献します。 次世代の人材育成として、地域の教育機関と連携し、積極的に地域の若者のキャリア教育に貢献します。 - 職業体験やインターンシップ等の開催に積極的に参加し、学びの場の提供に努めます。	  

SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）は、持続可能な開発のために国連が定めた国際目標です。2030年までに世界において解決すべき17のゴールを定めています。SDGsは、2030年の未来の「あるべき姿」もしくは私たちが直面している社会課題が、分かりやすく・バランス良く「見える化」されたものであり、企業がその経営や未来の姿を検討する際に役立つツールと言えます。

 1 貧困をなくそう	 2 飢餓をゼロに	 3 全てのの人に健康と福祉を	 4 質の高い教育をみんなに	 5 ジェンダー平等の実現	 6 安全な水とトイレを世界中に
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	 8 働きがいも経済成長も	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	 10 人や国の不平等をなくそう	 11 住み続けられるまちづくりを	 12 つくる責任 つかう責任
 13 気候変動に具体的な対策を	 14 海の豊かさを守ろう	 15 陸の豊かさも守ろう	 16 平和と公正をすべての人に	 17 パートナリシップで目標を達成しよう	

SDGs宣言書

株式会社ヤマナカ
2023年7月10日

当社はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取組を下記のとおり宣言します。

取組 カテゴリ	SDGs達成に向けた 重点的な取組テーマ	取組の内容	関連が強い SDGsゴール
人権労働	<u>差別の禁止</u>	経済活動に携わるすべての人の幸せを願って ・社員が個性や能力を発揮できるよう職場環境を改善します。特に技能実習生の住環境を整備することでそれぞれが力を発揮し、生産性向上の一助となるよう努めます。	5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも 経済成長も 10 人や国の不平等 をなくそう
環境	<u>水の管理</u>	限りある資源「水」を大切に使います ・海水面から工場へ直接取水しているため、海を汚染しないよう排水管理には格段の配慮を行っております。	6 安全な水とトイレを 世界中に 14 海の豊かさを守ろう
	<u>CO2削減</u>	再生可能エネルギーの太陽光電力を使用します ・商品製造にあたり、化石燃料由来の電力に依存せず、太陽光発電を使い補うことで、CO2の削減に貢献します。	7 再生可能エネルギー を活用しよう 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 具体的な対策を
	<u>3Rの推進</u>	食品ロス、産業廃棄物の低減を目指します ・「ホタテ貝」の残渣や殻などの廃棄物について、二次利用できる事業を構築し産廃の削減と収益化を図ります。 ・当社商品の「ホタテグラタン」は原料を余すことなく使用して廃棄物削減、紙容器・包材を使用することでプラスチックごみの削減に貢献しています。	12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう
	<u>天然資源の持続的利用</u>	海水温度の上昇による漁場の変化に対応できる事業環境を作り、また限りある水産資源を、持続的に漁獲できるよう一次生産者を支援します ・養殖技術等の研究により、一次生産者の生業が持続的に続くよう支援していきます。 ・JICA受託事業として、ベトナム向けに災害に強い日本式牡蠣養殖の技術移転を進めており、現地での養殖基盤の確立と事業に関わる人々の所得向上に貢献します。 ・ASC認証、MSC認証製品の積極的な活用を行います。	1 貧困をなくそう 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう
製品 サービス	<u>社会課題解決 サービス</u> <u>製品・サービスの 安全性</u>	積極的に新しい技術や考え方を取り入れ、業界のイノベーターになり、また高品質な商品提供へ向けた仕組みづくりに取り組みます ・従来のやり方にとらわれず、業界の新たな常識を作り続けていきます。その結果として業界をリードし、発展に寄与できるような立場になることを目指していきます。 ・冷凍帆立貝柱、冷凍むきほやに関するFDA HACCP認証を取得しております。	8 働きがいも 経済成長も 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 12 つくる責任 つかう責任
社会貢献 コミュニケーション	<u>持続可能な地域づくり パートナーシップ</u>	産官学または地元企業や関連企業とのコラボレーションで課題を解決します ・自社単独での解決が難しい事案に対して、産官学を交え、積極的に解決できる体制を作っていきます。	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 11 持続可能なまちづくりを 17 パートナリシップで 目標を達成しよう

SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) は、持続可能な開発のために国連が定めた国際目標です。2030年までに世界において解決すべき17のゴールを定めています。SDGsは、2030年の未来の「あるべき姿」もしくは私たちが直面している社会課題が、分かりやすく・バランス良く「見える化」されたものであり、企業がその経営や未来の姿を検討する際に役立つツールと言えます。

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 全ての人の健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等の実現	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	